

BOOK

本

街の本屋さんが「今月推したい1冊」をご紹介します。

はわが人生の「師」なり

— ささやかな日常からSFまで、技巧を凝らした作品集 —



猫を拾いに

著者：川上弘美
出版社：マガジンハウス
定価：1,500円＋税

雑誌「クウネル」で連載された作品をまとめた短編小説集の第3弾です。印象に残っている作品は、友人の友人宅で延々とホットケーキを食べさせられる「ハイム鯖」。部屋を訪れる見知らぬ人たちに誕生日を祝ってもらう「誕生日の夜」では、地球外生命体が突拍子もなく出てくるなど、川上さんの世界が広がっています。それから、川上ファンにはおなじみの「ゲイの修三ちゃん」が出てくる「はにわ」では、修三の母親が登場し、なぜそうなったのかを考える姿が描かれています。そういった前作との伏線を拾いながら読むのもおすすめです。

作品の多くに食べ物が出てくるのですが、その描写が丁寧でとてもおいしそうに表現されています。日常の出来事から、SF、怨霊まで出てきて、「謎は謎のまま」に描かれた傑作集です。

著者の川上弘美さんの作品は、人と人との違いから見えてくる人間関係や、描かれていない登場人物の背後をまざまざと感じ取れるものばかりです。読後、生きていくことの寄り添なさにふと気づかされます。

今月の推薦者



MARUZEN & ジュンク堂書店 札幌店
菊地 貴子 さん

今こんな本が売られています

MARUZEN & ジュンク堂書店 札幌店
売上ランキング
(期間:11月1日~11月30日)



総合 売上ベスト5

1位	長生きしたけりゃふくらはぎをもみなさい / 鬼木 豊 (監修) (アスコム)
2位	ゼロ なにもない自分に小さなイチを足していく / 堀江 貴文 (ダイヤモンド社)
3位	原発ホワイトアウト / 若杉 冽 (講談社)
4位	北海道に僕が残したいもの / 稲葉 篤紀 (宝島社)
5位	世界のエリートはなぜ、「この基本」を大事にするのか? / 戸塚 隆将 (朝日新聞出版)

CINEMA



ルートヴィヒ

1月11日(土)から公開
ディノスシネマズ札幌劇場

ドイツ映画界がワーグナー生誕200周年に贈る歴史超大作

19世紀半、ヨーロッパの美貌と謳われたバイエルンの王、ルートヴィヒ。戦争にも権力にも関心を持たず、ひたすら芸術に情熱を注ぎ、生涯を通じてバイエルンを美と平和の王国にすると夢を追いつづけた。本作は、そのエキセントリックな人物像を解き明かす壮大な歴史ドラマ。死後125年以上たった今も多くの人々を魅了してやまないルートヴィヒの、知られざる孤独と狂気の正体に迫る話題作。

チケットプレゼント

ご招待券を4名様にプレゼント。
32頁のアンケートにご記入の上、ご応募ください。